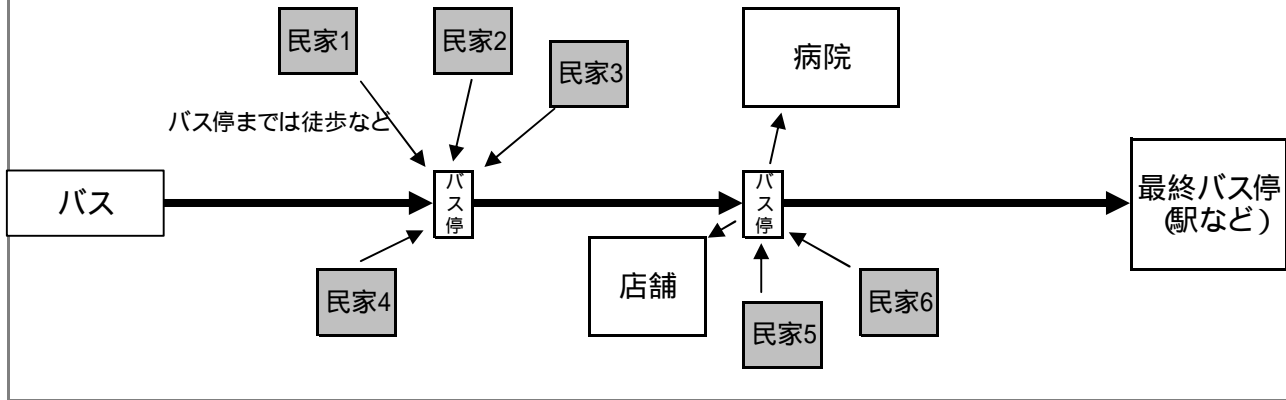
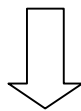
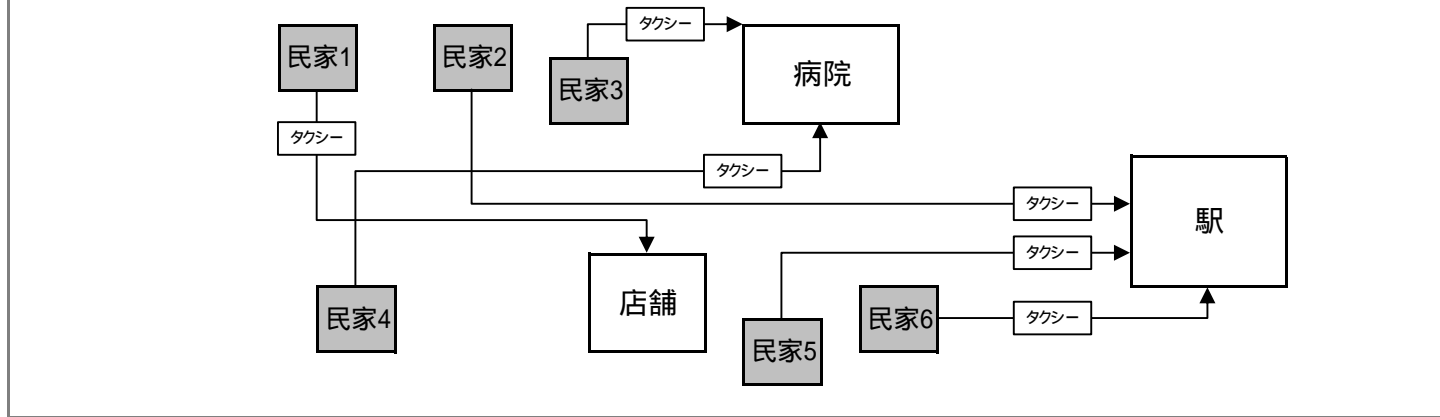


定時定路線で運行され、乗車・降車場所が決まっている。
1回の運行で複数人が乗り合わせて運行する。
一般的にタクシーに比べて運賃が安い。
乗客が無くても運行する。

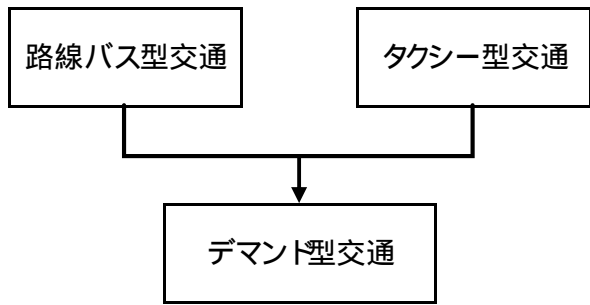


従来のタクシー型交通

乗客からの注文がある場合のみ運行する。
乗客は行きたい時間に行きたいところへドア-toドアで移動できる。
1回の運行で1人もしくは1グループを乗せて運行する。
一般的に路線バスに比べて運賃が高い。



従来の公共交通



地域の実情に応じて
変化した結果

デマンド型交通

定義

通常の路線バスのような定時定路線の運行ではなく、利用者がある場合にのみバスを走らせる、すなわち「需要 (Demand)」に応じて経路や運行時間を変えて運行するバス。(地域公共交通の活性化・再生マニュアル(九州版)より)

乗客の要望に応じて、運行ルートや乗降場所などを臨機応変に対応させることのできる「予約乗り合いバス」。(キーワードガイド新語辞書より)

特徴

運行する事業者によって自由になる部分(ルート/時間/乗降位置/呼び出しの有無など)は異なるが、概ねタクシーのような感覚で利用できる。

(ルートやバス停が予め決められている場合もあれば、区域内で乗り降り自由になっている場合もある)

(ダイヤや便数が予め決められている場合もあれば、乗客の希望に沿った時間に乗り降りできる場合もある)

デマンド方式による公共交通機関の運行は、過疎地をかかえる地方自治体などで注目されている。この場合、バスでなくデマンド型乗合タクシーなどとして導入されることが多く、これらを総称してデマンド型交通と呼ぶことがある。

